

(別紙)

提出書類の区分	■温室効果ガス排出抑制計画書 □温室効果ガス排出抑制計画書(変更)				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	宮崎県延岡市旭町二丁目1番地3				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	旭化成株式会社 常務執行役員 延岡支社長 竹本 常夫				
主たる業種	電気業及び化学工場				
事業概要	①(セオラス)結晶セルロースの製造 ②(不織布、エルタス工場)不織布の製造、 ③(技術研究所)繊維技術の研究開発 ④(電子・機能製品事業部)ペリクルの製造及び設計開発 ⑤(ベンベルグ工場)キュプラ長繊維・短繊維及びキュプラスパンボンド不織布の製造 ⑥(延岡動力部)蒸気、電力の製造及び供給 ⑦(愛宕事業場)苛性ソーダ及びその他無機薬品、綿葉、フッ素系イオン交換膜用樹脂及び塩化ビニリデン系樹脂の製造 ⑧(電解システム技術部)電解槽の設計・開発及び製造 ⑨(レオナ樹脂・原料工場)ポリアミド原料及び樹脂の製造 ⑩(レオナ繊維工場)ポリアミド繊維の製造 ⑪(日向化学品工場)塗料硬化剤(デュラネート)の製造 ⑫(ハイポア日向工場)機能膜(ハイポア)の製造				
事業者の区分	■みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 □同規則第9条第2号に該当する特定事業者 □同規則第9条第3号に該当する特定事業者 ■同規則第9条第4号に該当する特定事業者 □特定事業者以外の者				
計画期間	30年度				
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績① (29)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度② (30)年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量	771,959 t-CO ₂	t-CO ₂	769,985 t-CO ₂	-0.26 %
	原単位の排出量	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	%
原単位の考え方	目標達成のための基本方針 ・バイオマス発電所におけるバイオマス燃料の継続使用の促進 ・生産プロセスから排出される温室効果ガスの排出量の削減 ・一酸化二窒素分解設備の稼働率97%以上の維持 ・省エネの推進 ・地球温暖化対策・省エネに関する教育の推進				

<p>目標達成のための推進体制</p>	<p>延岡・日向地区工場のRCに関して延岡支社長が権限と責任を持っており、そのもとで各工場も活動している。各工場は、それぞれ体制をつくり、排出抑制を図っている。</p> <div style="margin-left: 40px;"> <pre> graph LR A[支社長] --- B[セオラス製造部長] A --- C[不織布工場長] A --- D[エルタス工場長] A --- E[技術研究所長] A --- F[電子・機能製品事業部長] A --- G[ベンベルグ工場長] A --- H[延岡動力部長] A --- I[愛宕事業場長] A --- J[電解システム技術部長] A --- K[レオナ樹脂・原料工場長] A --- L[レオナ繊維工場長] A --- M[日向化学品工場長] A --- N[ハイポア日向工場長] </pre> </div>
<p>目標達成のための措置の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃熱回収 ・ バイオマス発電所におけるバイオマス燃料使用率60%以上 ・ 電解電力の削減 ・ プロセスを最適化することによる蒸気及び電力使用の削減 ・ 一酸化二窒素分解設備の稼働率97%以上の維持及び運転最適化による省エネ ・ エネルギー使用量の削減及び廃棄物の抑制 ・ 冷凍機、空調機の更新
<p>特記事項</p>	

- 備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。
- 2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。